



本部主催 「2019政策フォーラム」

幕張車両センター分会&京葉車両センター分会が 「働きやすいミライの検修職場を創る為には」を提言!

11月10～11日、ホテル大観において盛岡地本準備のもと「2019政策フォーラム」が開催され、千葉地本は幕張車両センター分会と京葉車両センター分会の合同で「働きやすいミライの検修職場を創る為には」の提言を発表しました。

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」による業務委託から7年が経ち、CTSでは「技術力が身に付きにくいこと、情報ツールが脆弱なことによる働きがいの低下」により多くのプロパー社員が離職している問題、JR本体では「業務量の偏り、超勤の増加などでゆとりがない」という問題が発生しています。また、そのような中で発表されたミライの車両サービス&エンジニアリング構創において、「機械化が進む中でどう技術力を維持・向上するか」「ロボットやAIが故障した際にどう対応するか」「酷暑対策が間に合わない」など3点の課題があります。そうした問題点・課題を解消し、車両センターという職場を、働きやすく少ない人数でも高い技術力を発揮できる職場環境にすることを旨として、提言を行いました。その後の全体討論では共感や補足の発言がなされ、提言をより深めることができました。

今後、今回の発表内容をもとに団体交渉などを通じて、提言の実現を目指して行きます。



パワーポイントで提言を発表



全体討論



車両センターの生の声を発信



原因究明の必要性について発言

◆発表概要

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」による業務委託から7年が経過しました。グループ会社ではプロパー社員の育成にも力を入れています。定着せず離職するプロパー社員も出ています。その背景はなぜなのか。また、出向者の働きがいの向上についても問題提起を行います。

さらに、「ミライの車両S&E構創」も出され、検修職場の今後についてや、キャリアプランの描き方についても変わっていくことは間違いないことから、「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある検修職場のあり方について提起します。

【提言】

- ①グループ会社の各事業所に、専属の「指導担当」を配置
- ②グループ会社にもJoi-Tabを貸与
- ③機動班の工事を平準化、技術継承のゆとりを設ける
- ④技術管理室に、JR電話をえる業務用スマホを貸与
- ⑤機能保全班・機動班・技管室を融合し、「日常的に車両に触れるチャンス」を全社員に設ける
- ⑥車両検修機械のダウンタイムを減らす為、修繕費を確保
- ⑦酷暑対策のため、全社員に空調服を貸与



現場の声から練り上げた「提言」に基づき労働条件向上を実現するため、皆でJR東労組に結集して組織を強化・拡大し「政策実現力」を高めよう!